

川崎市戦没者追悼式



開催概要（平成22年度）

歳時名：川崎市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）
 （J R武蔵中原駅 徒歩1分）
 日時：平成22年10月7日（木） ※例年10月上旬頃開催
 参加者数：518人
 連絡先：川崎市健康福祉局 地域福祉課 044-200-2111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開式のことば…川崎市健康福祉局長
2. 「君が代」斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…川崎市市長、川崎市遺族連合会会長
5. 追悼のことば…川崎市議会議員、神奈川県知事、神奈川県議会議員、神奈川県遺族会会長
6. 来賓紹介
7. 献花…川崎市市長、川崎市遺族連合会会長、来賓、遺族代表ほか
8. 閉式のことば…川崎市健康福祉局地域福祉部長

式辞（平成22年度）

本日ここに、多くの御来賓の御列席を得て、平成二十二年度川崎市戦没者追悼式を執り行うにあたり、川崎市を代表し、式辞を申し述べます。

先の大戦において、祖国を思い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に散り、戦禍に遭われ、あるいは遠い異郷の地で亡くなられた、戦没者並びに戦災死者の御霊に対し、謹んで追悼の意を表します。

また、御遺族の皆様方は、最愛なる肉親を失い、深い悲しみを抱え、絶望の淵に立たされながらも、懸命なる努力により、あらゆる苦難を乗り越えてこられました。

これまでの、その計り知れない御苦労と御努力に対しまして、心から敬意を表するしだいでございます。

終戦から六十五年の歳月が経過しましたが、その間、私たちは戦没者並びに戦災死者の方々の尊い犠牲を礎に、たゆみない努力を積み重ね、恒久平和を切に願ひ続けてまいりました。

しかしながら世界では、今なお武力による争いが後を絶たず、多くの人々が傷つき、かけがえのない命が失われていることに、遺憾の念を抱くとともに強く憤りを覚えるしだいであります。

平和への想いは、いつの時代においても、なにものにも代えがたい普遍の願いです。

私たちは、将来を担う若い世代に、戦争の悲惨さを語り継ぎ、失われた命の尊さと平和の大切さを伝えていかなければなりません。

私は、人が人を支え、大切な命を尊び育む「人間都市」づくりをはじめ、川崎の魅力が輝き、活力にあふれる日本一の都市づくりを見据え、「新たな飛躍」を目指して、様々な取り組みに全力を傾注してまいりますことを今日ここにお願い申し上げ、市民の皆様とともにこの平和を、より一層充実させてまいりたいと存じます。

終わりに、戦没者並びに戦災死者の方々の御冥福と世界の恒久平和の確立を心からお祈り申し上げますとともに、併せて御遺族をはじめ本日御参列いただきました皆様方の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。

平成二十二年十月七日
 川崎市市長 阿部 孝夫

川崎市戦没者慰霊塔



基本情報

所 在： 夢見ヶ崎動物公園
 住 所： 川崎市幸区南加瀬 1-2-1
 (JR新川崎駅 徒歩15分)
 連絡先： 川崎市健康福祉局 地域福祉課 044-200-2111 (代表)
 建 立 者： 川崎市
 建 立 年： 昭和35年7月

碑 文

慰霊塔

慰霊塔記

この慰霊塔は明治以降幾多の戦争において護国のために散萃された戦没者並びに戦災死者の霊を慰め かつその冥福を祈るため建てられたものである
 われらは 諸霊のみ前において戦争を阻止し 国際平和の実現と福祉社会の建設に努力することを誓いする

昭和三十五年七月
 川崎市長金刺不二太郎



御幸地区戦災殉難者群霊墓碑



基本情報

所 在：延命寺
 住 所：神奈川県川崎市幸区都町4-2
 (JR川崎駅 徒歩15分)
 連絡先：延命寺 044-522-0702
 建 立 者：延命寺
 建 立 年：昭和22年4月

碑 文

御幸地区戦災殉難者群霊

.....

御幸区戦災者氏名 百六十名



扇島身代り地藏尊



基本情報

所在：扇町三叉路交差点付近
 住所：神奈川県川崎市川崎区扇町1-2
 (JR昭和駅 徒歩2分)
 連絡先：不明
 建立者：扇町町内会
 建立年：昭和50年7月25日

碑文

【表】

扇島身代り地藏尊

【裏】

昭和二十年四月十五日より七月二十六日
 未明迄による史上最大の空爆に於ける
 犠牲者の冥福を祈り今後の諸安全
 を祈願してこの地藏尊を建立する
 ものであります

昭和五十年七月二十五日

平和祈念碑



基本情報

所 在：大通り公園内
 住 所：神奈川県横浜市中区弥生町4付近
 （横浜市営地下鉄 阪東橋駅 徒歩1分）
 連 絡 先：横浜戦災遺族会 045-712-5463
 建 立 者：横浜戦災遺族会
 建 立 年：平成4年5月29日

碑 文

平和祈念碑 由来之記

1941年12月8日 日本軍の米国真珠湾軍港に対する奇襲攻撃により 大日本帝国は 連合軍との間に戦端を開くに至った。その後1945年8月15日に至り わが民族の滅亡を憂うご聖断により漸く敗戦の日を迎えた。

その間 三年九ヶ月余。政・軍・官の情報統制の下 一般庶民は戦争の実相を知らされることなく ひたすら盲従を強いられた日々であった。戦線が次第に日本本土に近づくにつれ 米軍機による空爆は熾烈を極め 国内百数十の都市が軍事施設・民間施設の別なく攻撃を受け 非武装の一般民衆が多数犠牲となった。横浜はこの間三十数回の空爆を受けた。特に1945年5月29日白昼 当時世界最大級の重爆撃機B29五百余機 随伴戦闘機P51百余機の連合軍機により 市内は絨毯爆撃を受けること一時間余。焼夷弾換算四十三万余発の投下により市内は焦熱地獄の様相を呈し 非武装の民衆に万余の犠牲者を生ぜしめた

この地に戦火止みて既に四十数年の歳月が経過したが 残された遺族の心の傷は今なお癒えることはない。当時を知る遺族も その多くは鬼籍に入り 犠牲者達の恒久平和を希求する声なき声を伝えるべきよすがとして失われようとしているこの時 遺族縁類相寄り相扶け 私財を投じ 心ある市民の合力を得て 平和祈念碑建立を發願した。

祈念碑回廊中には犠牲者の姓名を彫刻し そのアイデンタティを復活せしめ 共に手をたずさえて平和のメッセージを伝え 全世界において我らが子々孫々に至るまで戦争の惨禍におびえることなく恒久平和を享受出来る世界の実現を願い 惻隱の情を意味する「愛」と 飢餓のない世を理想とする「平和」の文字を 我らのいのちを支える「地球」に配して象徴とした。幸い 横浜市会代表の正・副議長殿の賛同を得 国会・県議会有志議員諸賢 神奈川県知事殿の賛意を得た。題字には 横浜市長 高秀 秀信殿のご揮毫になる「平和祈念碑」の彫刻を付し 横浜市からは施設設置許可を受け この地に恒久平和実現の為の一里塚として この碑を建立した。

除幕式には 国際連合駐日代表殿 広島市長殿 長崎市長殿世界各地のピース・メッセージャー都市首長殿から 多数の献辞が寄せられた。

この人類至高の祈りが 志ある人々により継承発展され 犠牲者も平和の使徒の先駆者として 至福の時を 共に迎える日の近きことを信ずる。

1992年5月29日
 横浜戦災遺族会
 会長 池谷榮一撰

戦争犠牲者諸聖霊



基本情報

所 在：慶珊寺
 住 所：神奈川県横浜市金沢区富岡東4-1-8
 (京急電鉄 京急富岡駅 徒歩15分)
 連 絡 先：慶珊寺 045-772-3264
 建 立 者：慶珊寺 第十九世隆定識
 建 立 年：昭和55年

碑 文

【表】

戦争犠牲者諸聖霊

【側面】

昭和二十年六月十日横浜市富岡町ハ米軍ノ爆撃ヲ受ケ数多
 ノ犠牲者ヲ出ス 偶々当地ニアッテ非業ノ死ヲトゲシ諸聖
 霊無念ノ恨ミヲイダキテ当苑ニテ仮葬セララル 時移リ平和
 ノ世トナリテ三十数星霜往時ヲ知ル人数ナシ 今ココニ檀
 徒有志ト共ニ供養塔ヲ建立シ聖霊ヲ慰メ併セテ戦没者各霊
 ノ追福菩提ヲ祈ルモノナリ

昭和五十五年春 慶珊寺第十九世隆定識

ガラスのうさぎ像



基本情報

所 在： J R 二宮駅 南口ロータリー
 住 所： 神奈川県中郡二宮町二宮 8 3 8 付近
 (J R 二宮駅前)
 連 絡 先： 二宮町 総務部 総務課 0 4 6 3 - 7 1 - 3 3 1 1 (代表)
 建 立 者： 「ガラスのうさぎ」像を二宮駅に建てる会
 建 立 年： 昭和 5 6 年 8 月 5 日

碑 文

ガラスのうさぎ
 圃鋳作

説 明 文

太平洋戦争終結直前の昭和二十年八月五日
 ここ（国鉄）二宮駅周辺は艦載機 P 5 1 の機銃掃射を受け 幾人かの尊い生命がその犠牲となりました

この時 目の前で父を失った十二歳の少女が その悲しみを乗り越え けなげに生き抜く姿を描いた戦争体験記「ガラスのうさぎ」は国民の心に深い感動を呼び起こし 戦争の悲惨さを強く印象づけました

この像は私たち二宮町民が 平和の尊さを後世に伝えるために また少女を優しく励ました人たちの友情をたたえるために 多くの方々のご協力をいただき 建てたものです 少女が胸に抱えているのは 父の形見となったガラスのうさぎです

ここに平和と友情よ永遠に

昭和五十六年八月五日
 「ガラスのうさぎ」像を二宮駅に建てる会

小田原空襲の碑



基本情報

所 在：青物町交差点角（レストラン壁面）
 住 所：神奈川県小田原市浜町3-1-32
 （JR小田原駅 徒歩15分）
 連 絡 先：大南勝彦 0465-22-0723
 建 立 者：大南勝彦
 建 立 年：平成2年6月10日

碑 文

小田原空襲の碑

第二次世界大戦最後の空襲
 大南勝彦

その昔 小田原宿は、東海道沿いと甲州街道沿いとに家並みがひろがっていましたが、当家の所は此の両者の交わる地点で、青物町一丁田へと伸びる甲州街道の基点でもありました。

第二次世界大戦、いわゆる太平洋戦争の最後の日の夜半から早暁にかけ、当地はアメリカ空軍B29爆撃機による焼夷弾爆撃を受けました。

一九四五年（昭和二十年）八月十四日夜半、B29一機が来襲。まず照明弾が落とされ、旧甲州街道沿いに大量の焼夷弾攻撃を展開、当家は八箇の焼夷弾による直撃を受けましたが、警防団の消火活動で一旦鎮火。しかし十五日午前一時頃炎に包まれました。

高梨町、青物町、宮小路、一丁田など、焼失家屋は合わせて四〇二戸。罹災者一八四四人。負傷者六五人。死者四八人を数えました。

日本がポツダム宣言受諾を打電したのは八月十日でしたが、その後も交戦状態は続き、無条件降伏を決定したのは八月十四日、小田原空襲はそのあとに行われたもので、国内の他の数カ所の地域と共に、文字通り第二次世界大戦最後の空襲でした。

平塚市平和慰霊塔



※写真提供 平塚市

基本情報

所 在：平塚八幡山公園
 住 所：神奈川県平塚市浅間町1
 (JR平塚駅 徒歩15分)
 連絡先：平塚市 福祉部福祉総務課 0463-23-1111 (代表)
 建 立 者：平塚市
 建 立 年：昭和40年12月27日

碑 文

戦災による殉難の諸霊を平和慰霊塔に合祀し

つつしみて短歌三首を捧ぐ

米軍の空襲の日に被爆して倒れし市民(とも)の霊(たま)を弔う

この塔にあわせまつりと悲しみの市民のみ霊よ永久にやすかれ

戦いは地獄なりけりつぎの世にこのかなしみをまたあらしめじ

平塚市長 加藤一太郎

平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い



※写真提供 平塚市

開催概要 (平成22年度)

歳 時 名：平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い
 会 場：平塚市八幡山公園内平和慰霊塔前広場
 (JR平塚駅 徒歩15分)
 日 時：平成22年10月22日(金) ※例年10月開催
 参列者数：123人
 連絡先：平塚市 福祉部 福祉総務課 0463-23-1111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. はじめに…平塚市副市長
2. 黙とう…参列者
3. 式辞…平塚市長
4. あいさつ…平塚市議会代表、平塚市遺族会会長
5. 献花…参列者
6. 平和を願って…平塚市立中原中学校3年生代表
作文朗読
7. 唱歌…平塚童謡の会
8. おわりに…平塚市福祉部長

式 辞 (平成22年度)

本日、ここに戦争犠牲者のご遺族並びにご来賓の方々をはじめ、大勢の皆様の御参列をいただき、「平成二十二年度平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い」を開催するにあたり、二千八百五十六柱の御霊に、平塚市民を代表して謹んで追悼の言葉を申し上げます。

先の大戦が終結してから早くも六十五年の歳月が過ぎ去りました。
 本日、こうして平和慰霊塔の前にたたずみ、祖国の安泰と繁栄を願い、そして最愛の肉親、友人の幸せを祈りつつ戦場で散った戦没者の皆様、穏やかな日常を空襲によって奪われた戦争殉難者の皆様、また、かけがえのない肉親を戦渦によって失いながらも、戦後の幾多の困難な道のりを乗り越え、残された御家族を立派に守り抜かれた御遺族の皆様の、それぞれの深い悲しみや、多くの御苦勞を顧みます時、今もなお尽きることのない悲しみが胸に込上げてまいります。

(中略)

本日、ここに戦争犠牲者の御冥福を心からお祈りするとともに、御遺族並びに御列席の皆様のお多幸と御健勝を祈念して式辞といたします。

平成二十二年十月二十二日 平塚市長 大藏 律子